



▼朝日保育所 (3月26日)



～ 思い出を胸に新たな旅立ち ～ 小・中学校卒業式 / 保育所修了式



▲只見小学校 (3月23日)



▲只見中学校 (3月12日)



▲基調講演での増子輝彦経済産業省副大臣

自 運動器健診結果報告会 自分のことを自分でできる楽しさをいつまでも

3月25日に季の郷湯ら里で、運動器健診結果報告会が行われ、約70名が参加しました。講師に福島県立医科大学医学部整形外科の大谷晃司先生を迎え、介護予防のための腰痛・膝痛予防対策について講演が行われました。予防対策で大事なことは自分の健康に関心を持ち、運動器健診や各種運動教室、介護予防教室などに参加することのことです。今年度も運動器健診は行われます。

人 奥会津活性化シンポジウム が住み、集まる魅力的な奥会津に

只見川電源流域振興協議会などの主催により、3月7日に季の郷湯ら里で、奥会津活性化シンポジウムが行われ、約270名が来場しました。電源立地町村の果たす役割と地域振興と題し、経済産業省副大臣の増子輝彦氏による基調講演では「全国の地域が競争の時代、ハンデを武器にして頑張ってもらいたい」と激励されました。同協議会では今年度から新たな「歳時記の郷・奥会津活性化計画」のもと、地域の特徴を生かした産業の創出に取り組んでいきます。



▲大谷晃司先生の話真剣に聴く参加者

「只見に学ぼう！」の力作がずらり

3月20日に只見地区センターで、今年度の冬季講座で受講生が取り組んだ作品の成果を展示する発表会が行われました。取り組んだ講座は、「つる細工講座」「郷土料理習得講座」「パッチワーク講座」の3講座と、同地区センターで定期的にかれる「絵手紙教室」や「折り紙細工」の作品が1階フロアに展示されました。今回は、従来の展示・販売のほか、「つる細工づくり」「布端切れを使った小物づくり」などの体験コーナーもあり、楽しい一日となりました。



▲約60名の入場者でにぎわった展示発表会

芸 明和公民館まつり 能発表会で入場者からおしめない拍手

3月13日と14日の二日間、明和地区センターで、恒例の明和公民館まつりが行われ、延べ500名が参加しました。初日は、明和っ子料理教室で子どもたちが野菜ピザやカボチャドーナツ作りに挑戦したり、メンコやけん玉などの昔遊びや科学実験遊びを体験しました。また、参加者は介護予防に効果のある太極拳体操で体をほぐしたり、粘土細工でアクセサリを作りました。二日目に行われた芸能発表会では歌や踊り、落語などに拍手が送られました。



▲芸能発表会「還暦白波五人男（三九会）」



▲夢をあきらめないことの大切さを語る桑田真澄氏

水 トークセッション の郷只見から日本そして世界へ

電源開発株式会社の主催により、3月28日に季の郷湯ら里で、電源開発株取締役の田生宏禎氏と元プロ野球選手の桑田真澄氏によるトークセッションが行われ、300名を超える町民が来場しました。田生氏は田子倉発電所や町内にある発電所の概要などについて講演、桑田氏は少年時代からプロ野球選手となり活躍するまでの野球人生から学んだことや教訓を講演しました。その後、サインの書かれた色紙やボールの抽選会で会場は盛り上がりました。

な 朝日のいいもの集めちゃった市 つかしい「かたぬき体験」が子どもに人気



▲思わず大人も真剣な顔つきになる「かたぬき体験」

3月14日に朝日地区センターで、朝日のいいもの集めちゃった市が行われ約250名が参加しました。今年も運営スタッフとして只見中の生徒18名がボランティアで参加、イベントを手伝いました。2階ホールには各種講座で作製された作品や小学生の作品のほか、昭和36年から平成21年までの成人式の集合写真が展示され、参加者の視線が集中していました。最後はビンゴ大会で盛り上がりました。